

## Suicide rates in the aftermath of the 2011 earthquake in Japan

### 2011年の大震災後の自殺率

大戸 齊

福島県立医科大学

#### 著者

福島県立医科大学：大戸 齊、前田 正治、矢部 博興、安村 誠司、Evelyn Bromet

#### 要約

岩手県、宮城県、福島県を襲った2011年3月の地震と津波は、福島第一原子力発電所の事故を引き起こしました。福島県内13の自治体が放射線被爆からの避難地域に指定され、210,000人の居住者が避難しました。2015年1月の時点で、120,000人の福島県住民が未だ避難しており、移住することを決めた住民もいます。

福島県立医科大学県民健康調査が約185,000人の避難者を対象に精神衛生を調査したところ、2011年は14.6%、2012年は11.7%、2013年は10.3%が強い苦しみを感じていました。さらに、2011年は21.6%、2012年は17.4%、2013年は17.2%が心的外傷後ストレス障害（PTSD）と推定されました。日本全域の対照サンプルでは、3.0%が強い苦しみを感じており、心的外傷暴露のある1.3%がPTSDを有していました。

原子力災害によるスティグマ、強い苦しみやPTSDを理由に、福島県の避難者への心のケアが優先事項となりました。調査票の回答が実質的な症状を示していた、又は援助を要望した年間3000人以上の人々に対する臨床心理士、保健師、及び精神保健福祉士による支援電話など、総合的な対策が実施されました。2012年から6カ所の心のケアセンターが福島県に設立され、3.5年間にわたり影響を受けた地域社会において、放射線健康専門家による500回を超える対話集会在実施されました。

2010年と比較し、被災3県において、標準化自殺死亡率が災害後の最初の2年間は減少し（表）、その後、2014年に岩手県と宮城県では災害前レベルまで増加し、福島県では災害前を超過しました。

日本全体では、自殺発生率は微減しています。自殺発生率が震災後最初の2年間は減少し、その後増加するパターンは1995年の阪神-淡路地震後にも同様に観察されました。

米国、フランス、西ドイツ、日本における第一次及び第二次世界大戦期間と直後も同様でした。震災後、一時減少したのは避難と移動がピークとなった2011年、国内外の専門家から注目され、他大な気配りと利他主義的な集団意識の両方が作用したと想像されます。しかし、福島県では心理的介入プログラムを十分には補うことができませんでした。三重災害という新たな現実と直面することになり、限定された雇用と若い家族の都市地域への移動と相まった士気喪失と不安の増大が自殺増加の引き金となりました。従って、心理的回復を援助するための長期的な取り組みが必要となります。

	2010	2011	2012	2013	2014
<b>福島県</b>					
人数	540	525	458	466	476*
100,000人当たりの死亡者数	26.6	26.4	22.8	23.9	24.5*
標準化された自殺死亡率	108	107	94	96	126
<b>岩手県</b>					
人数	467	401	373	373	374*
100,000人当たりの死亡者数	35.1	30.1	28.6	28.8	28.9*
標準化された自殺死亡率	141	122	115	115	138
<b>宮城県</b>					
人数	620	483	508	485	519*
100,000人当たりの死亡者数	26.4	20.8	21.9	20.8	22.3*
標準化された自殺死亡率	108	84	88	88	110
<b>日本合計</b>					
人数	31690	30651	27858	27283	25374*
100,000人当たりの死亡者数	24.9	24.0	21.8	21.4	19.9*

自殺による死亡者数に関する情報は、日本の内閣府及び復興庁からのものである。我々は、年毎の年齢別比率に基づきそれぞれの県の死亡率を比較するため、標準化された自殺死亡率を算出した。\*暫定的なデータ

表：2011年3月の地震及び津波の影響を受けた県における自殺による死亡者数

自殺による死亡者数に関する情報は、日本の内閣府及び復興庁からのものである。我々は、年毎の年齢別比率に基づきそれぞれの県の死亡率を比較するため、標準化された自殺死亡率を算出した。\*暫定的なデータ

## 掲載情報

「Lancet」 (2015)

Ohto H, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Bromet EE.

Lancet. 2015 May 2; 385(9979):1727.